

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2012
平成24年

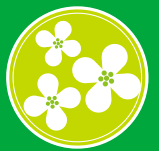
7.15

命を育む 郷土の浜辺!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
「たね、の簡単&おいしい」産直レシピ	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- スナメリから海の世界を学ぼう 2ページ
- たねの簡単&おとし「産直レシピ」 3ページ
- 地域の話（校区対抗交流スポーツ大会） 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ

市民発!

スナメリから海の世界を学ぼう

広報サポーターだよ

皆さん、こんにちは。広報サポーターの鈴木理絵です。自然豊かな渥美半島では、沿岸部にスナメリという準絶滅危種に指定される小型のイルカが生息しています。今回は、広報サポーターの河合恵さんと一緒に、スナメリウォッチングに参加してきました。



●キラキラ輝く伊良湖港



●いざ出航!



●少し濁って見えた篠島付近の海

鈴木理絵

▲船上からの写真撮影・取材協力（広報サポーター 河合恵）

スナメリウォッチングに私たちが参加した日は、遠くまでよく見渡せる快晴でしたが、風が強く白波も立っていました。あらかじめ、スナメリくらぶの会員で船長の金原さんから「今日はちよつと観察するのは難しいんじゃないかな」と言われていました。スナメリには、イルカのような特徴的な背びれがなく、色も明るい灰色をしているため、波とほとんど区別がつかないそうです。出航直前まで、波の少ない海域や進路を考えてくれましたが、結局この日はスナメリを観察することはできませんでした。

スナメリくらぶは、10年ほど前に地元の人たちを中心に結成された有志の会で、現在は20人ほど。スナメリウォッチングを始めたきっかけを伺うと、「スナメリに触れてほしいという気持ちもあります。それ以上に三河湾の海の現状を見て

欲しかったからです」と話してくれました。

スナメリは、三河湾や伊勢湾のほか、銚子沖や瀬戸内海などでも生息が確認されています。生息域は、海岸に近い水深50m以内の遠浅の海で、観察に適している反面、人間の生活に影響を受けやすい動物ともいえます。

現在、三河湾と伊勢湾で、スナメリは約2000頭いるとされていますが、年々減ってきているそうです。その原因の一つは、人が捨てたビニールやタバコの吸殻などのごみ。これらを餌と間違えて飲み込み、消化不良を起こして死んでしまうのだそうです。ニュースなどで、死んだスナメリなどが砂浜に漂着したという話を聞いたことのある方もいると思います。実際、伊良湖港には、空き缶やタバコの吸殻などが水面に浮かんでいました。





どうしてもスナメリに会いたくて、後日、伊勢湾フェリーに乗り、三重県の鳥羽水族館へ行ってきました。とても愛らしい姿に感動しました。今度は、野生のスナメリに会えるといいなと思います。



スナメリくらぶの皆さんは、スナメリウォッチングだけでなく、海岸清掃などのクリーン活動も行っています。金原さんは「昔みtainなきれいな海を取り戻して、スナメリウォッチングを目当てに、伊良湖に観光に来てくれる人を増やしたいです。お客さんに伊良湖の海を見てもらい、『楽しかった』はもちろんのこと、環境のことについても考えるきっかけになってくれればうれしいです」と語ってくれました。

今回は残念ながらスナメリを見られませんでした。が、伊良湖の海について改めて考える良い機会となりました。スナメリがこの海に暮らしているのだと思うと、自然と親近感もわいてきます。田原市の沿岸に暮らす小さな動物を守るのも、私たちしたいなのだと思いました。



「たね」の簡単&おいしい『産直レシピ』

広報サポーターの「たね」が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、季節の野菜「トウモロコシ」を使ったレシピをお届けします。



トウモロコシご飯

【材料4人分】

- トウモロコシ 中1本(実だけ150g) ●塩 小さじ1/2
- 酒 大さじ2 ●精白米 3合
- 水 炊飯器の目盛りよりも少し少なめに合わせる

【作り方】

- ① 精白米は、洗って水を切っておく。
- ② トウモロコシは、生のまま実だけにしておく。
- ③ 炊飯器に米と水を目盛りより少なめに入れる。
- ④ ③に塩・酒を入れてよくかき混ぜて炊飯する。

トウモロコシのかき揚げ

【材料4人分】

- トウモロコシ 200g ●小麦粉 適量
- 大葉・パセリ・ちりめんじゃこ・ハム お好みで
- 天ぷら粉・水 適量(天ぷら粉の袋に記載の分量を参考)
- 揚げ油 適量

【作り方】

- ① トウモロコシは、生のまま実だけにしておく。
- ② ①に小麦粉を軽くまぶしておく。(バラバラになりにくくなる)
- ③ 天ぷら粉に水を入れホットケーキぐらいの硬さにしておく。
- ④ ③にトウモロコシを入れてよく混ぜ、スプーンですくい170℃の油でカラッと揚げる。

※お好みで「大葉&ちりめんじゃこ」や「ハム&パセリ」を加えて、味の違いも楽しんでください♪





▲大会の様子(綱引き)



▲開会式の様子

地域の話題

田原市地域コミュニティ連合会

交流スポーツ大会で広がる

地域の輪・市民の和

6月16日(土)に、渥美運動公園屋内競技場で開催された

「校区対抗交流スポーツ大会」の話題が届きました。



みんなが参加し
互いに尊重・助け合う
地域づくりの場

スポーツでいい汗・いい交流

市

内全20の小学校校区には、それぞれ校区コミュニティ協議会(以下、校区協議会)が組織されており、各校区のまちづくり推進計画に基づき、暮らしやすいまちの実現を目指した自主的な地域づくりが行われています。

「田原市地域コミュニティ連合会」は、校区協議会の連合組織として、平成23年度に発足しました。「地域みんなで協力して、誰もが暮らしやすい地域」を目指し、調査研究や定例会による情報交換、地域(行政)懇談会の開催、会報発行など、さまざまな事業を行っています。

「校区対抗交流スポーツ大会」は、

地域におけるスポーツ振興と校区内・校区間の交流・連帯意識向上を図ることを目的として開催しました。市内の全校区が集まる本格的な大会としては、合併以後、初めての開催となりました。

大会には、全20の校区協議会から選手379名が参加し、「綱引き」と「玉入れ」の二種目で心地よい汗を流しました。両競技とも1チーム10名(うち2名以上女性)で構成し、4つのブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロック1位の校区が、決勝トーナメントで順位を争いました。競技の運営は、地域のスポーツ振興を進める市教育委員会に主体的

に取り組んでいただきました。

選手編成には各地域の個性があふれ、ユニフォームを揃えて参加するチームも多く見られました。交流が目的の大会とはいえ、いざ試合が始まると、どの試合も白熱し、会場は笑顔と歓声に包まれていました。

また、同じ空間、同じ時間を共有したことで、異なる地域の顔や名前を知らない方たち同士が、交流する機会にもなったようです。

大会結果

●綱引き

- 優勝 神戸「コミュニティ協議会」
- 準優勝 六連「コミュニティ協議会」
- 3位 伊良湖校区「コミュニティ協議会」
- 玉入れ
- 優勝 若戸校区「コミュニティ協議会」
- 準優勝 亀山校区「コミュニティ協議会」
- 3位 高松「コミュニティ協議会」

連合会では、このような行事をきっかけにして、地域に暮らす人々の相互理解や連帯意識が高まることを期待しています。

なお、各校区協議会や自治会でも、さまざまな行事や活動が行われています。ぜひ、身近な地域活動へ参加しましょう。



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

田原市図書館サポーターズ おおきなかぶ

～「図書館 10 歳のお誕生日おめでとう！」記念イベントでデビューします～

△ 年 8 月 2 日に、中央図書館が開館 10 周年を迎えます。これを機会に、図書館ボランティアグループは、「田原市図書館サポーターズ おおきなかぶ」としてデビューします。この組織を構成するのは「図書館フレンズ田原」「NPOたはら広場」「くぬぎの会」「ハンドの会」などの団体。中央図書館の開館以前から活動を続け、開館後は定期的に図書館を交えたミーティングを行うなど、市民に愛される図書館づくりを支えてきました。今回、市が主催する中央図書館開館 10 周年記念事業と併せて「図書館 10 歳のお誕生日おめでとう！」と題したバラエティ豊かなイベントを行います。市民の皆さんも「おおきなかぶ」で市民活動に参加してみませんか。



月日	イベント内容	開始時間	会場
8 / 5 日	図書館おめでとう！セレモニー（参加自由） ※ 8 / 2 生まれの方には特典あり！詳しくは、図書館中央カウンターにて	13:00	アトリウム
	三重奏生演奏会（参加自由）	13:30	アトリウム
	絵本「おおきなかぶ」の読みあい（参加自由）	14:00	アトリウム
	お茶会（申し込み不要：先着順 100 名、お茶代 100 円）	15:30	アトリウム
8 / 18 日	こどもしつ宝さがしゲーム（定員各 20 名：小学生以下）	13:00、14:00	こどもしつ
	「ぼく・わたしが読み聞かせしてあげるよ！」体験（定員 10 名：小学生以下）	15:00	こどもしつ
8 / 19 日	「ハンドの会」工作教室（定員 20 名：小学生のみ）	13:00	グループ研究室

※ 8 / 18 日および 19 日の参加受付は、7 / 27 日開始（申し込み用紙はこどもしつカウンターにあり）

● 詳しくは「田原市民活動支援センターホームページ」で紹介中

お問い合わせ：NPOたはら広場 ☎080-6955-2167

市民提案

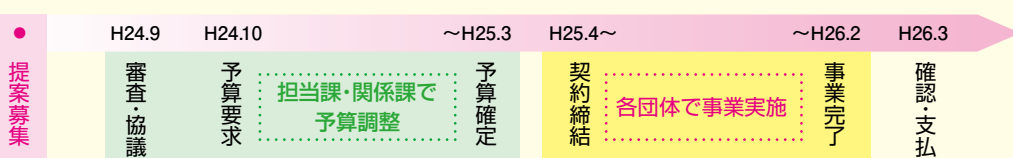
市の事業を受託してみませんか？

自由なテーマで提案してみよう！「市民提案型委託制度」

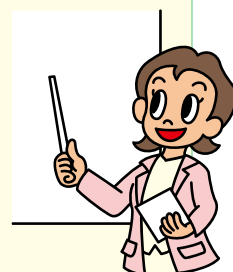
「市民提案型委託制度」は、行政が実施すべき性質の市民サービスや管理業務などについて、効果的な事業を提案した団体が、市と委託契約を結ぶものです。今回は、自由なテーマで市民提案を募集します。市の施策の推進が期待できる内容の事業提案について、事業の担当課と役割分担などを協議し、調整が整った場合に予算計上され、平成25年度に事業を実施することになります。

- **募集期間** 8月31日 午後5時まで ※必着
- **対象事業** 市の施策が推進される事業で、平成25年度内に実施・完了するもの
- **対象団体** 主に市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体
- **応募方法** 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可 (<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)
- **審査方法** 応募団体による担当課への提案内容説明で審査し、事業を選定
※事業内容の協議が整った場合でも、予算編成の都合上、事業費の削減や次年度へ繰り延べされる場合があります。

● スケジュール



● **応募・お問い合わせ** 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPO や市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ：☎22局 1111（内線 812）※ 開設時間のみ ☎23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 48

学校生活の
一コマを紹介

今回は、「若葉集会」で茶摘み体験をする小学生の様子と、愛知県教育委員会の学校給食優良校に選ばれた中学校の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

童浦小学校「若葉集会」

郷土愛を育む親子で茶摘み体験！

童浦小学校には、長年続いている伝統行事「若葉集会」があります。これは、蔵王山の麓にある学校茶園で、子どもたちや保護者が地域の皆さんと一緒に茶摘みをする行事です。毎年、八十八夜のころに行い、今年度は5月1日(火)に実施しました。

童浦小学校の茶園は、昭和8年に始まり今年で79年目。この「若葉集会」は、祖父母から父母へ、そして子へと、3世代にわたって受け継がれてきました。

今年の春先は冷え込みが厳しく、若葉の伸びが心配されましたが、青々と伸びた新芽がそろいました。「初めて茶摘みをしました」と話す保護者や、「見て見て、たくさん採れたよ」と、茶葉を見せに来る子どもたち。家族の夕食時などに、茶摘み体験が話題になるなど、家庭でも童浦への愛着心が育まれています。

●親子で茶摘みは楽しいね！



●長年受け継がれてきた学校茶園



●給食の時間に栄養士の話聞いたよ！



●作ることの大変さと大切さを学んだ調理実習



田原中学校「学校給食」

おいしく・楽しい、感謝の心を大切に！

田原中学校は、平成23年度、愛知県教育委員会から学校給食優良校に選ばれ、表彰を受けました。これは、学校給食を中心とした食育の成果が認められたものです。

生徒たちは、給食や家庭科などの教科、特別活動や総合的な学習の時間で、「食事の大切さ」や「食事のよろこび」、「食事の楽しさ」を体験しながら学んでいます。そして、その学習や活動を通して、食事を作ってくれる人々、食物の生産に関わる人々、命ある食材(農・畜・水産物)などに感謝する心を大切にしています。

また、表彰を受けたことを機に、生徒たちは以前より給食当番の活動がしっかりできるようになり、残さず食べることもできるようになりました。

今後も「食」を通して、一層給食の時間が充実していくように、全校で取り組んでいきます。



▲6月下旬には、田原市の児童たちが阿南町で宿泊交流体験を行いました

6月6日「水」
海のまちで
友情を育む

長野県下伊那郡阿南町(友好都市)の小学5年生40名が和地小学校を訪れ、六連小・大草小・和地小・堀切小・伊良湖小の児童58名と交流を行いました。児童たちは、両市町の混合班に分かれ、手づくりの名刺交換や貝殻拾いなどを行い、交流を深めました。

6月12日「火」
地域の安全を
見守ります



▲ASTCの皆さんは、児童の登下校時の見守りや防犯パトロールを行います

自主防犯パトロール隊「ASTC(オールセーフティーオプタハラシティ)」が結成され、福江幹部交番で出発式が行われました。地域の安心安全のため、市民の有志15名で結成されたこのパトロール隊。青色回転灯を装着した自動車(青パト)3台で市内全域を巡回します。

6月8日「金」
飲酒運転撲滅運動
地道な活動が評価



▲市長に活動内容や受賞の喜びを報告する伊藤組合長(写真右)

愛知県飲酒生活衛生同業組合田原支部が全国飲酒生活衛生同業組合連合会会長から特別感謝状を贈呈されました。これは、平成12年から市の交通安全キャンペーンなどに参加し、加盟店舗をあげて飲酒運転撲滅運動に取り組んでいることなどが評価されたものです。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



●職場でも節電を心がけましょう

皆さんは、職場で節電を意識していますか。オフィスでのエネルギー消費の割合は、省エネルギーセンターホームページによると、空調28%、照明40%、コンセント32%となっています。

今回は、オフィスでの消費エネルギーを減らすためのアイデアをご紹介します。

●エアコンの節電

夏の冷房時の室温は28℃を目安にしましょう。扇風機を併用すれば、より涼しく感じることができます。

●照明の節電

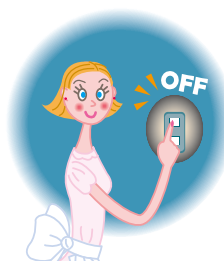
必要のない明かりはこまめに消し、明るさを調整できる照明器具は照度を下げましょう。

※その他にも、クールビズやノー残業デーを推奨する、省エネタイプのOA機器を導入するなど、職場でも節電を心がけましょう。



●たはら節電ライトダウン2012夏 市内76施設で実施中

田原市では、例年、夏季および冬季に「ライトダウンキャンペーン」を実施し、市内多くの事業所や公共施設で、不要な照明の消灯を呼び掛けています。今回のキャンペーン期間は、6月21日(木)から8月31日(金)で、市内76施設から参加の申し込みがありました。



参加施設などの詳細については、ホームページをご覧ください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1832人、事業所80か所(6月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

http://www.city.taharatchip/

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん③



皆さんが出しているごみの中には、リサイクルされるだけでなく、お金になる資源ごみがあることをご存知ですか。今回は、資源ごみについてご紹介します。

●お金になる資源ごみ

●鉄くず類

*売却代金約880万円
壊れた自転車、金属製品、空き缶や小型の廃家電など

●古紙・繊維類

*売却代金約4100万円
段ボール、新聞、雑誌、紙パック、古着など

●ペットボトル・プラスチック容器類

*売却代金約950万円
洗剤やシャンプーのボトル、カップ麺の容器など



※各資源ごみの売却代金は、平成23年度の合計額です。これらは、市の収入となり、皆さんの生活に役立てられています。

●ごみを出す前に確認を

何気なく燃やせるごみなどに出していたものでも、資源ごみだということがありませんか。次の点に気を付けて、分ければ資源、分けなければごみという気持ちで、分別に取り組んでみましょう。



●リサイクル可能な紙類が「もやせるごみ」の中に混ざっていないか
●プラマークの付いた容器類を「もやせないごみ」に出していないか

●分別することのメリット

- ごみの減量
- ごみ処理経費の削減
- 限りある資源の有効活用
- 地球環境の保全
- 「少しでもなら大丈夫」という気持ちは捨てて、さらなるごみ減量と分別にご協力をお願いします。



▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

交流通信

国内外との交流・多文化共生

韓国銅雀区と旌善郡を田原市長などが訪問

田原市公式訪問団の現地での様子や訪問の成果などをご紹介します。



▲活気のある旌善郡の二・七の市

5月16日(水)～19日(土)、田原市長と田原市議会議長を含む公式訪問団6人が、田原市の姉妹都市である韓国ソウル特別市銅雀区と江原道旌善郡を訪れました。

●銅雀区では交流を深めていくことを確認

一行は、まず区内のボランティアセンターを見学。市民がボランティアを行った時間を貯蓄し、本人や家族がボランティアを必要とするときに利用できる制度などを学びました。その後、銅雀区庁長や銅雀区議会議長を表敬訪問。同区庁長と同議長は、平成22年に田原市を訪れていることもあり、お互いに再会を喜ぶとともに、今後も姉妹都市交流



▲田原市公式訪問団と銅雀区関係者

を深めていくことを確認しました。

●旌善郡では観光・農業分野などでの交流に合意

旌善郡は、韓国北部にある江原道の高原地帯にある郡で、ソウルから西へ車で約3時間。西に隣接する平昌郡は、2018年冬季オリンピックの開催地で、旌善郡もスキー競技の開催地になっています。

一行は、旌善郡守や旌善郡議会議長を表敬訪問。同郡守は、平成23年に田原市を訪れました。今後は、観光や農業をはじめ、幅広い分野での交流推進に渥美半島観光ビューローが合意しました。



▲田原市長と旌善郡守(写真右)

また、田原市の市と同じように、「2と7」のつく日に開催される「二・七の市」や、旌善郡が整備を進める体験型の観光施設などを視察しました。

▶広報秘書課 ☎22局0138

◆竜巻注意情報とは
竜巻の発生する危険な気象状況をお知らせして、竜巻への注意を呼びかけるものです。「今まさに竜巻の発生しやすい気象状況」であることをお知らせします。県ごとに発表し、有効時間は1時間で

◆竜巻とは
発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。台風、前線、低気圧などに伴って発生します。短期間で狭い範囲に集中し、甚大な被害をもたらします。
また、竜巻は日本中どこでも季節を問わず発生します。



◆竜巻注意情報が発表されたら
「空が急に真っ暗になる」「大粒の雨やひょうが降り出す」「雷が発生する」など、発達した積乱雲が近づくと兆しがある場合には、頑丈な建物に避難するなど、安全確保に努めてください。

●屋内では
窓やカーテンを閉め、窓から離れてください。1階の窓がない部屋に移動し、机の下に入るなど身を小さくして頭を守ってください。
●屋外では
頑丈な建物内に避難してください。物置や車庫の中は危険です。屋内に避難できない場合、電柱や太い樹木の倒壊に注意してください。
▼防災対策課 ☎23局3548

みんなできり組む防災・減災
けんちゃん
竜巻
防災知恵袋
15



◆竜巻注意情報が発表されたら
「空が急に真っ暗になる」「大粒の雨やひょうが降り出す」「雷が発生する」など、発達した積乱雲が近づくと兆しがある場合には、頑丈な建物に避難するなど、安全確保に努めてください。

おしらせ				
		INFORMATION		

募集

WANTED

生涯学習情報誌 有料広告

▼募集枠数 10枠 ▼掲載場所 生涯学習情報誌(平成24年度下半期)の裏表紙/発行部数2万3000部 ▼広告のサイズおよび掲載料 1種広告 縦4.5cm×横8.5cm、裏表紙1枠1万5000円ほか

▼申し込み 8月15日(水)までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接持参 ▼その他 申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。(申

込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページからダウンロード可) ※詳しくはお問い合わせください。

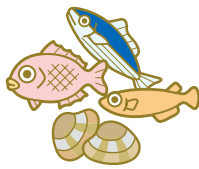
▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811
🌐<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>

SEA級グルメ!三河湾の幸を使った美味SEAレシピ

三河湾の豊かな海の幸を使った料理を多くの人に知ってもらい、食を通して三河湾を身近に感じていただくためのレシピを募集します。

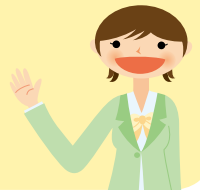
▼応募規定 1人1作品、材料費は4名分で2000円程度/調理時間(下記しらは除く)は概ね1時間程度 ▼応募方法 8月31日(金)までに、住所・氏名・電話番号・料理名・材料・分量・調理法・アピールポイント・料理の完成写真を添えて三河湾浄化推進協議会事務局へ郵送またはEメールにて(締切日必着)

▼その他 応募作品の諸権利は協議会に帰属し、写真などの資料は返却いたしません。抽選で100名様に記念品贈呈。レシピは協議会の広報



活動などで使用。

三河湾流域の市町村などで構成する三河湾浄化推進協議会では、多くの方々に浄化意識を高めていただくため、7月25日(水)31日(火)を三河湾浄化週間と定め、生活排水対策の呼びかけなどの活動を行っています。



▼三河湾浄化推進協議会事務局 (〒440-8501 住所不要) 豊橋市環境保全課内 ☎(0532)51局2390 ✉kankyohozen@city.toyohashi.lg.jp ▼環境衛生課 ☎23局3541

渥美病院 「院内探検ツアー」参加者

J A愛知厚生連渥美病院では、市民の皆さんに病院をより知っていただくため、「院内探検ツアー」を開催します。

▼対象 市内在住の小学4～6年生とその保護者 ▼日時 8月4日(土) 午後1時～3時30分(予定) ▼場所 渥美病院

▼内容 簡単な病院の紹介、病院施設(手術室、調剤・検査室、地下免



震ピットなど)や最新CTなど高度医療機器の見学・体験 ▼定員 15組(申込者多数の場合は抽選) ▼参加料 無料 ▼申し込み 7月27日(金)までに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、FAXまたはEメール・はがきにて

▼J A愛知厚生連渥美病院 企画室 (〒441-3415 田原市神戸町赤石1-1) ☎22局2131 FAX22局0284 ✉postmaster@hp.atsumi.jaikosei.or.jp

自衛官制度説明会

平成24年度自衛官採用に伴い、希望者に対し、制度説明会を開催します。進学または就職をお考えの方、または自衛隊に関心のある方はお気軽にお越しください。

▼対象 平成24年度に18～26歳になる方(父兄同伴可) ▼日時 8月4日(土) 午前10時～正午(受付:午前9時50分) ▼場所 田原文化会館201会議室

▼自衛隊豊橋地域事務所 ☎(0532)33局2693 ✉aichi.pco.toyohashi@rct.gsdf.mod.go.jp



生活

営農支援センターメール配信 サービスをご利用ください

農地の売買・貸借情報や農業に関する補助金情報などを、いち早くメールにてお知らせする営農支援センターメール配信サービスを行っています。このメール配信サービスは、パソコン・携帯電話から登録できます。パソコンの場合は、営農支援センターホームページにアクセスし、専用フォームからご登録ください。

- 携帯電話の場合は、下記のQRコードから登録することができ



農業の経営規模拡大をお考えの方は、この機会に、ぜひご登録ください。詳しくは、営農支援センターホームページをご覧ください。

▼ 営農支援センター（赤羽根市民センター内） ☎ 45局3114
<http://www.city.taharaaichi.jp/section/einou/>

堆肥散布による悪臭などの発生防止にご協力を

夏場は、農地への堆肥散布の時期です。堆肥を散布すると、近隣の住宅や観光施設などから悪臭やハエなどの苦情が寄せられることがあります。



- 次の点に注意して、生活環境の保全と水質汚濁などの防止にご協力をお願いします。
- 悪臭が発生するような堆肥を使用せず、十分発酵させ悪臭を伴わない完熟堆肥を使用しましょう。
- 農地に搬入した堆肥は、すぐに鋤き込みましょう。搬入後、雨天により鋤き込みできないことのないよう、天候に注意しましょう。
- 住居や観光施設に近い農地に施肥する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、粉じん、ハエなどの害虫や汚水が発生しないようにしましょう。

- 地下水汚染の原因にもなる、過剰な堆肥投入はやめましょう。
- ▼ 農政課 ☎ 23局3517 FAX 22局3817
- ▼ 環境衛生課 ☎ 23局3541 FAX 23局0180

下水道に異物を流さないようにお願いします！

最近、下水道施設への異物の流入が多発中です。故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなり、異物を流さないようご注意ください。

- 流してはいけないもの
- ティッシュや乳幼児用おしりふきなどトイレトーパー以外の紙
- 野菜くずやご飯の残り、天ぷら油 ※排水管が詰まる原因になります
- ガソリンや灯油など揮発性の高い危険物

※ 下水道管の中で爆発を起こす原因になります

- ▼ 下水道課 ☎ 23局3525 FAX 22局3184
- ▼ 下水道課（渥美支所内） ☎ 33局1113 FAX 32局2506

夏の安全なまちづくり県民運動 8月1日～10日

この運動は、地域の皆さんと防犯協会、警察が協力しあい犯罪を未然に防ぐ活動を行うものです。

8月は、夏休みや長期休暇で開放的な気分になり、身の回りに潜む危険を忘れがちな時期です。また、ラジ体操や盆踊りなどの地域行事も

行われ、子どもたちを巻き込んで地域連帯を強めていける時期でもあります。地域ぐるみで防犯活動を行い、安心して暮らせるまちを目指しましょう。

● 運動の重点

- 子どもと女性が被害者となりやすい犯罪の防止
- 自動車関連窃盗および自転車盗の防止
- 振り込め詐欺の被害防止
- 年間取り組み事項
- 住宅を対象とする侵入盗の防止

▼ 市民協働課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

● 第5回男女共同参画フェスティバル「映画祭」

日時 = 8月26日(日) 14:00開演 (13:30開場)

場所 = 田原文化会館文化ホール

主催 = 田原市男女共同参画推進懇話会

上映作品 = 「60歳のラブレター」

(出演：中村雅俊、原田美枝子ほか)

入場料 = 無料 ※入場整理券が必要

入場整理券 = 7月25日(木)から配布開始

配布場所 = 市民協働課・渥美支所(平日のみ)、田原文化会館・赤羽根文化会館(月曜休館)、渥美文化会館(土・日・祝日のみ)

問い合わせ = 市民協働課 ☎ 23局3504



歴史探訪

クラブ! 其の136

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

感激の対面 藤原頭長銘の壺

梅雨入りした6月、静岡県三島市にある個人のお宅に所蔵されている平安時代の壺の見学に行きました。その壺は、国指定史跡の大アラコ古窯跡(芦町)で焼かれたことがわかっています。前回お知らせした東大寺瓦もそうですが、大まかな産地は分かっても、焼いた窯が分かるといことは、奇跡に近いことなのです。この壺は、先代と今のご当主が耕作中に見つけたものです。掘り出した時には、土製の蓋がかぶせられ、

壺に接して鉄の小刀、銅の鏡、火打ち石がありました。壺が埋められた平安時代の終わりは、人々は世の末を恐れ、極楽浄土を願い、寺院の建立や経の書写、埋納経などが盛に行われていました。これは、当時のそのような願いによって作られた、経文を埋めた塚「経塚」であったようです。そして、鏡や刀が入れられたのは、その大事なお経を守るためのまじないです。

壺は高さ39cm、茶色で、見た目はそれほど高級な焼き物には見えませんが、壺の口部分はわざと打ち欠いたため残っていません。しかし壺に

は「正五位下行兵部大輔 兼三河国守藤原朝臣頭長 藤原氏比丘尼源氏 道守尊靈 従五位下 惟宗朝臣 遠清 藤原氏 惟宗氏 内蔵氏 惟宗尊靈 惟宗氏尊靈 藤原尊靈」と文字が刻まれ、藤原頭長をはじめとする四家と祖先の名が連なっています。頭長は三河の国司を務めており、自分が治めていた国の焼き物の窯場「大アラコ窯」で、文字を刻ませ壺を作ったのです。

この頭長の壺は、山梨県南都町、三島市、神奈川県綾瀬市など富士山周辺で集中して発見されています。その訳は、次のように考えられています。



▲藤原頭長銘の壺

平安時代の終わりに盛んだった富士山信仰の信者の一人に、当時の権力者、鳥羽法皇がいました。法皇に公私ともに近い立場で

あった頭長は、法皇の埋納の意向をくんで壺を作り、富士山周辺に経塚を作ったのではといわれています。

私は三島市で、平安時代の都の人たちの願いが詰まった壺との感激のひとつを過ごしました。素朴な見た目とは違い、その歴史は深く重いものでした。十分な見学を終え、ご当主と壺について思いを巡らせていました。そして、世間話の中で、現在のご当主の息子さんは、農業研修のため、渥美半島の農家で半年間勉強したとお聞きしました。不思議な縁を感じずにはいられません。平成25年の秋の特別展には、この渥美窯の優品が800年ぶりに渥美半島に里帰りします。(増山)

今月の「表紙」

▼アカウミガメの産卵が見られると聞き、赤羽根海岸へ通った私。早起きが苦手なはずなのに、午前3時に起きて海へ。アカウミガメは、暗くて静かできれいな海岸に卵を産むそうです。ようやく5日目、産卵後、海へと帰っていくアカウミガメに出会えたときは、本当に感動しました。(O)

【表紙の写真】産卵後のアカウミガメ(赤羽根海岸)